

事務連絡
令和4年12月23日

各都道府県トラック協会
専務理事 殿

公益社団法人 全日本トラック協会
役員待遇審議役 佐竹 克也

**高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備えた防疫資材の確保について
(協力依頼)**

平素は当協会の業務運営に種々ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、別紙の令和4年12月22日付事務連絡により、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザは、野鳥においては9月25日に神奈川県においてハヤブサの検体から確認されて以降、全国的に発生リスクが拡大し、養鶏場においても、10月28日の岡山県での発生確認後、現在まで計22道県で47事例（約714万羽）が断続的に確認されており、今後においても、引き続き、発生リスクが高い時期が続くことから、まん延防止のための殺処分等の防疫作業に必要な防疫資材について、年末年始、土日祝日等の連休も含めて確保できる体制整備を整えるよう、農林水産省消費・安全局動物衛生課家畜防疫対策室長より協力依頼がありました。

つきましては、各都道府県トラック協会におかれましては、都道府県家畜衛生主務課から協力要請があった場合には、防疫作業に必要な資材等の調達が円滑にいくよう、貴協会傘下会員事業者とも連携を図りつつ、ご対応下さいますようお願い申し上げます。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

公益社団法人 全日本トラック協会 交通・環境部

電話：03-3354-1045 FAX：03-3354-1019

事務連絡
令和4年12月22日

全日本トラック協会 会長 殿

農林水産省消費・安全局
動物衛生課家畜防疫対策室長

高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備えた防疫資材の確保について
(協力依頼)

日頃から、家畜衛生の推進に御理解、御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

今シーズンの高病原性鳥インフルエンザは、野鳥においては9月25日に神奈川県においてハヤブサの検体から確認されて以降、全国的に発生リスクが拡大し、養鶏場においても、10月28日の岡山県での発生確認後、現在まで計22道県で47事例(約714万羽)が断続的に確認されています。

今後においても、引き続き、発生リスクが高い時期が続くことから、まん延防止のための殺処分等の防疫作業に必要な防疫資材について、年末年始、土日祝日等の連休も含めて確保できる体制整備が重要となっています。

つきましては、下記の防疫資材の調達が円滑に行えるよう、貴会傘下の会員及び貴社の担当部局へ周知いただくとともに、都道府県家畜衛生主務課から協力要請があった場合には、専門的見地からお力添えいただきますようお願い申し上げます。

記

- ・使い捨てマスク (N95 及び DS2 規格、不織布等)
- ・防護服 (ウイルスバリア、化学防護タイプ)
- ・アウター手袋 (厚手タイプ)
- ・ヘアキャップ (不織布素材)
- ・感染性廃棄物密閉容器 (40L~50L 相当品)
- ・90L ポリバケツ (蓋付)
- ・消毒薬、消石灰
- ・日用品 (90L 厚手ゴミ袋、結束バンド、くもり止め、ラッカースプレー等) 等
- ・ゴーグル (無気孔タイプ)
- ・インナー手袋 (薄手タイプ)
- ・衛生長靴 (ポリ塩化ビニル製)
- ・フレキシブルコンテナ
- ・ブルーシート (大判サイズ)
- ・炭酸ガス

参考：農林水産省 HP (令和4年度 鳥インフルエンザに関する情報について)

URL <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/220929.html>

【担当者】 農林水産省消費・安全局動物衛生課 金子、大江、横山、杉

TEL:03-3502-8292 Email: akinori_kaneko960@maff.go.jp
takuya_yokoyama910@maff.go.jp